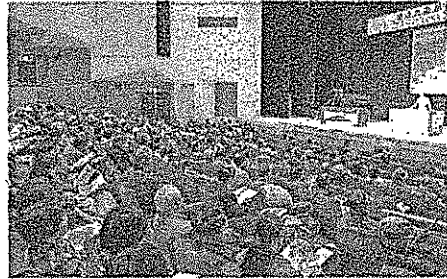


# 2000万署名に全力

## 福島県九条の会がつどい

立憲主義の破壊を許さない  
と開かれた県九条の会  
県民のつどい 11月23日  
福島県郡山市



年の参院選で与党を過半数割れに追い込もうと訴えました。

小林武冲縄大学客員教授が『オール沖縄』から新しい日本を展望する」と題して講演。

辺野古新基地問題の現状に言及し、「危険性除去」のためには普天間基地の閉鎖・撤去こそ必要だと語りました。また「安倍首相に率いられる政治運営はストップしないとけない。野党の共闘、政権構想などを国民の中で大いに討論し、良い方向を見いだしていくことが求められる」と述べました。

立憲主義破壊を許さず憲法9条が輝く未来をと、福島県九条の会の主催で県民のつどいが23日、郡山市で開かれ、多彩な人たちが参加しました。

助代表は「安倍首相は『それは私が決めること』『私が最高責任者だ』などと、絶対王政がやっていたことと同じことをしている。法に従わない政治は一刻も早くやめてもらわなければならぬ。そのためにあらゆる運動を進めたい」と強調。戦争法廃止の2000万署名に全力をあげ、来

戦争法に反対する若者有志の会のメンバーが戦争法反対のたたかいと思いを語りました。